

教育研究上の目的

人間福祉学科は、人生のあらゆる場面における実践的な福祉・援助の方策を探る社会福祉学に基づき、「生活の質」の向上や「地域」における「共生」に対する理解を背景として、援助技術や介護、保育に関する知識・技術を適切に応用できる能力を習得するための教育研究を行うことを目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

人間福祉学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 人間の尊厳と基本的人権の尊重という価値の中にある社会福祉学を基盤としたソーシャルワークの知識・技術・価値を身につけている
2. 福祉的支援を必要とする人々の「生活の質」の向上や地域における「共生」をめざし、社会福祉学を基盤とする相談援助、介護・保育の実践に関する知識に基づき、生活課題の問題点を複合的に思考し、判断することができる
3. 家族や地域社会への働きかけおよび社会全体への問題提起・問題解決方法の提案ができる高い専門性と倫理に関する知識を理解することができる

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（社会福祉学）」の学位を授与する。

①知識・理解・技能（技法）・表現

1. 人間の尊厳と基本的人権の尊重という視点から、社会福祉の法や制度面についての基本を、口頭あるいは文章で表現することができる
2. 支援を必要とする人々への支援に関して、基本的なとらえ方を理解し、口頭あるいは文章で表現することができる
3. 支援を必要とする人々に対するコミュニケーションの重要性を理解し、基本的な専門的援助関係をつくり進めていくことができる
4. 乳幼児から高齢者までの生活支援を意識して、支援を行っていくにあたって人権尊重の意味や内容を理解し、問題の解決の方法を示すことができる
5. 乳幼児から高齢者までの健康や保健に留意し、生涯の段階における生活課題を理解し、問題の解決の方向性を説明することができる

②思考・判断

1. 実際の援助・支援にあたって、事実や支援の効果について実証的に明らかにし、理解することができる
2. 援助・支援に関する理論や考え方を理解し、実際の事例に合わせて説明することができる
3. 図表等の統計的な資料を読み、そこに示される動向や結果について理解することができる
4. 自分が体験したことを分かりやすく意味づけ、表現することができる
5. お互いに自身の考えを伝えあい、自らの考えや集団の考えを高め発展させることができる

③関心・意欲・態度

1. 広く社会福祉の課題に関心を持ち、解決へ向けた方法の提案や行動につながることのできる専門性と倫理を身につけている
2. 実習・演習教育を含めた他者との関わりから「振り返り」を進め、専門的援助関係において自己覚知を深めることができる

3. 人間の尊厳と基本的人権の尊重という社会福祉学の基本的理念をふまえて、地域社会・福祉社会形成へむけて自ら参画していくことができる

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

人間福祉学科では、学科全員が共通に学ぶ「社会福祉基礎科目」、目指す専門性に応じて選択する「ケアワーク科目」「保育科目」「ソーシャルワーク科目」、さらに学外での実習をとまなう「社会福祉実践科目」、福祉専門職としての資質向上やより学際的分野への学びを深める「社会福祉展開科目」を設ける。

各領域の学修過程および学修方法は、次の通りとする。

◆社会福祉基礎科目

1. 社会福祉に関連する主要な法・制度について説明できるよう、テキスト・プリント等を活用して学修を進める
2. 社会福祉に関連する主要な法・制度のおよその概要と対応するおよその福祉分野の現状とその課題について、自分の見解を形成できるよう、テキスト・プリント等を活用して学修を進める
3. 社会福祉に関連する主要な法・制度のおよその概要と対応するおよその福祉分野の現状とその課題について、人間の尊厳と基本的人権の尊重という価値に基づいた自分の批判的な見解を述べるができるよう、テキスト・プリント等を活用して学修を進める

◆ソーシャルワーク専門科目

1. 社会福祉や隣接分野に関連する法・制度を理解し、相談援助の展開過程に必要な理論や技術を用いて、課題解決に向けた方法を論理的思考に基づいて、自ら提案できるように、講義および演習を通して学修を進める
2. 専門的援助関係を形成していくうえで必要な自己覚知を深め、相談援助における基礎的なコミュニケーション技術や面接技術を実践的に習得できるよう、また実習経験後の個別的な体験を一般化・理論化できるまでに理解を深められるよう、講義および演習によって学修を進める
3. ソーシャルワークにおける専門職倫理を理解し、人々の生活課題や困難性の背景にある現代社会の諸問題に対し常に目を向け、問題意識を自ら持てるよう、ソーシャルワークのあり方を事例分析や先駆的实践に関する教材によって学修を進める

◆ケアワーク専門科目

1. 福祉的支援を必要とする人々への生活支援に関する理論の基本的枠組みを講義及び演習を通じて習得する
2. 福祉的支援を必要とする人々へのコミュニケーションスキルを講義及び演習を通じて習得し、その専門的援助関係の基本を構築する
3. 援助・支援に関する理論や知識を統合し、実習教育においての個別の事例に合わせて介護計画の立案し、実施する

◆保育専門科目

1. 保育に関する法・制度の概要を理解し、児童の発達に即した保育を展開できるようテキスト学習・グループワーク等を活用して学修を進める
2. 事例検討・グループワーク、実習経験等を通して、必要なニーズを把握・分析し、保育を構想することができるよう学修を進める
3. 子どもを取り巻く現状とその課題について関心をもち、子どもの最善の利益という価値に基づき自らの見解を述べるができるよう、調査研究、グループワーク、事例検討等を活用して学修を進める

◆社会福祉実践科目

1. 指導・支援に係る知識と技術を統合し、個別の学習到達目標を達成できるように、主体的に取り組み、実習での日々の学習内容や実習後の学習成果を言語化し、他者に伝えられるように、各種書類の作成とフィードバックを通して学修を進める
2. 実習で関わる対象者の理解を深め、専門職の役割について理解したうえで、信頼関係の構築や指導、支援計画の立案、具体的な援助方法、多職種協働、評価方法について実践的に習得できるよう、スーパービジョンを行いながら、学修を進める
3. 人々との関わりを通して、専門職としての自己覚知を深め、個々への尊厳のもと、各専門職として求められる資質、価値、倫理等、総合的に習得できるよう、ロールプレイや個別指導・グループディスカッションを行いながら学修を進める

◆社会福祉展開科目

1. 福祉分野横断的な理解と、ソーシャルワークの専門的展開に関する理解を選択的に学ぶ
2. 社会問題の解決や支援の現状について実践的・総合的にとらえ、専門職の社会的役割を踏まえた意見を表明できるよう専門性を高める
3. 時代や社会の変化に伴う福祉課題の変化を踏まえて、常に新しい課題に関心と意欲をもって、専門職として学び続ける態度を身につける

◆卒業研究

1. 自己の社会福祉への課題に関心を持ち、その解決へ向けた方法の提案や行動ができる高い専門性と倫理を身につけている
2. 人間の尊厳と基本的人権の尊重という価値の中にある、自己の社会福祉への課題について論述することができる
3. 人間の尊厳と基本的人権の尊重という価値の中にある、自己の社会福祉への課題について発表することができる

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間福祉学科では、次のような学生を求める。

1. 人間の尊厳を守り、基本的人権を尊重することができる
2. 社会福祉に興味を持ち、共感的態度をもって、人を支援する仕事に取り組むことができる
3. 現代社会の問題に関心を持ち、地域社会とかかわりながら、その解決に積極的に取り組むことができる

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 広く社会福祉の学びに関心を持ち、社会福祉士取得を志望し、高校までに必要な基本的知識を有している
2. 広く社会福祉の学びに関心を持ち、介護福祉士取得を志望し、高校までに必要な基本的知識を有している
3. 広く社会福祉の学びに関心を持ち、保育士取得を志望し、高校までに必要な基本的知識を有している

②思考力・判断力・表現力

1. 社会福祉の課題に関心を持ち、自ら学び、思考することができる
2. 介護福祉の課題に関心を持ち、自ら学び、思考することができる
3. 保育の課題に関心を持ち、自ら学び、思考することができる

③主体性・多様性・協働性

1. 社会福祉の課題に関心を持ち、支援としての相談援助の重要性を理解し、他者とかかわることができる
2. 介護福祉の課題に関心を持ち、介護の知識や技術の重要性を理解し、他者とかかわることができる
3. 保育の課題に関心を持ち、保育の知識や技術の重要性を理解し、子どもやその家族とかかわることができる